

企業訪問 循環型最前線レポート

高和興業（株）



「リサイクル」というキーワード を軸に、資源循環を創造する

高和興業（株）

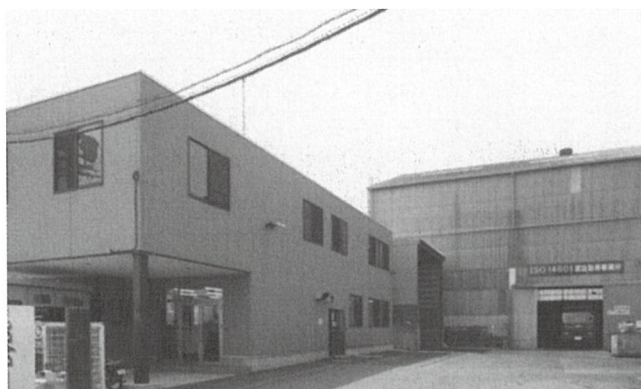
国内でも有数のものづくり産業地域である飛島村で昭和51年に設立された高和興業。土曜日ということで休業の会社の多い中、活発に重機やトラックが動いている忙しい現場でしたが、現場で指揮を執る高和興業（株）営業部課長 佐藤智和氏にお話しを伺い、工場を拝見させていただきました。



リサイクルの創造に熱い想いを語る佐藤課長

「当社には、夢とロマンをもって仕事に取り組む。『縁の下の力持ち』として社会貢献を果たす。信頼される態度と誠実さをもって顧客に対応する。古きに学び新しさを創造する。というスローガンがあります。

社長は常々、リサイクルはもはや環境問題だけにとどまらず、産業構造を変革するような大きな要因になりつつあり、資源の有効活用を促進しながら、豊かな社会のあり方も同時に享受できるようになることが、持続的な循環型社会をもたらすものだと思います。この時代の流れをいち早く予測し、人材育成や技術研究などに取り組み、お客様のさまざまなニーズにお応えできる体制づくりを当社は行っています。」と話されました。



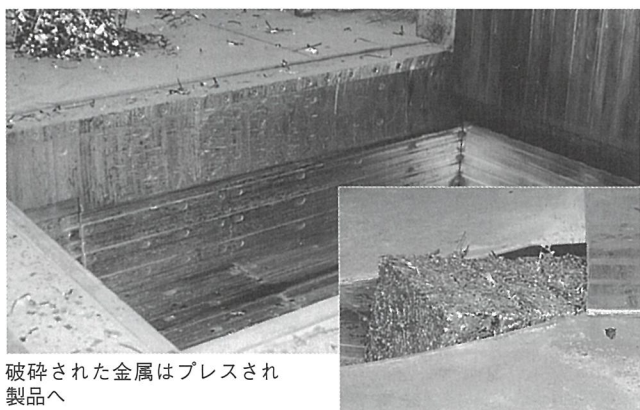
高和興業 株式会社

■代表者／加藤 栄

■所在地／愛知県海部郡飛島村金岡53-3

TEL：(0567) 55-0002 FAX：(0567) 55-1865





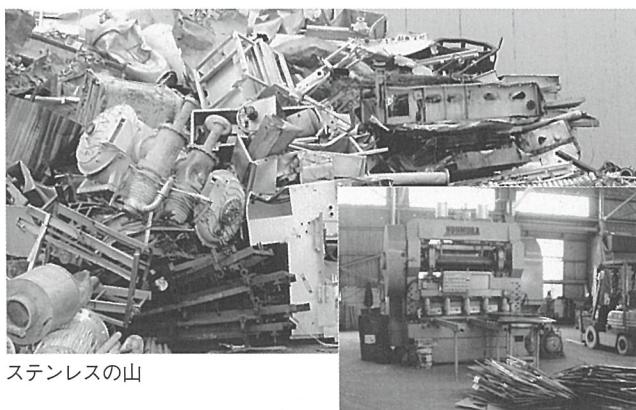
破碎された金属はプレスされ製品へ

「当社の業務は、自動車メーカーなどから出される金属部分などの端材（裁断バラ等）のほか、ステンレス屑、真鍮や銅、アルミなどを回収し、混在した金属の成分解析をおこない、資源として分別して製鋼メーカーや鋳造メーカーなどへ納入する金属リサイクルと鋳造に使用された型枠の廃砂を回収し、手選別・篩機・破碎機・磁選機を使用して鋳物砂を鉄、鋳物砂・スラグ等に選別（分別）します。さらに、分析器にて成分を調べた上で製品別に管理し、製錬メーカーやセメントメーカー及び路盤メーカーなどへ納品する産業廃棄物（鋳物砂）リサイクルです。私はこの産業廃棄物リサイクル担当です。」

現在リサイクルをしているのは、月に4,500～5,000トンですが、処理施設は10,000トンの処理能力があり、かつては月に8,000トン処理した実績もあるので、まだまだ余力があります。しかし、鋳物業界が海外に工場を作るなどのマイナス要素も



鋳物砂は破碎後リサイクル

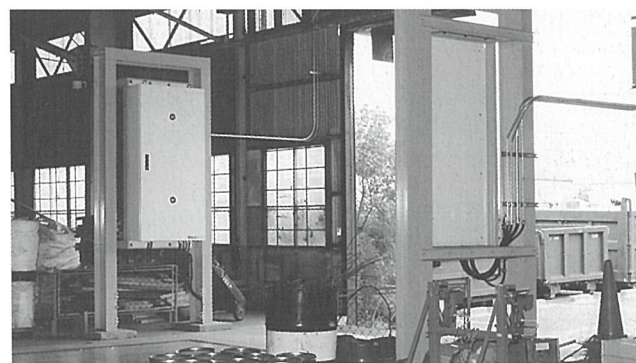


ステンレスの山

あるので、今後はただ処理トン数を増やすのではなく、一定量の処理で製鋼、鋳造、精錬メーカーに納入するリサイクル製品の付加価値を高めていきたいと考えています。現在リサイクル製品は5種類（鋳物砂、金属、ステンレスクローム、耐熱鋼、特金）ですが、製品数も増やすなど取引先の要望に応じていきたいと思っています。

そのためにISO14000シリーズ取得や流通構造の変化に合わせた取扱い商材の拡大、分析機による成分解析など、信用と信頼にもとづく作業を行っています。具体例としては木場工場ではステンレスのリサイクルを扱っていますが、工場の入り口に放射能を感知するシステムを設置し、搬入される製品に放射能が含まれていないかチェックし、安心安全な製品づくりを行っています。」と話されました。

今後の佐藤課長はじめ高和興業の夢とロマンの実現を応援したいと思います。



放射能を感知するシステム